

の方向性はあるのか。

答 不妊に悩む人への支援は前進している。本市としても周りの動向を見ながら対応していきたいと考えている。

問③ 小学校の色覚検査が今年度より廃止となったが、色覚異常のある児童に対しての配慮として特殊チヨークの導入を検討してはどうか。

答 比較的見やすい白や黄色のチヨークを主体に使用するよう心がけているが、今後現場教員の意見も聞きながら特殊チヨークの導入も検討していきたい。



深谷 嘉勝 議員

一 市町村合併について

問① 四市町村による合併の枠組みが崩れた要因は何か。

答 嶺南一市構想を進める前段で、大きな合併か小さな合併かの考え方に隔たりがあり、どうしても埋まらなかった。

問② 期限内合併を目指す中で名田庄村への対応について。

答 村長には小浜市の意向は伝えてあり、一月には村の方針が出ると聞いている。

問③ 嶺南一市構想は実現不可能と思うがどうか。

答 将来的には望ましいと思うが、一気に進むには難題が多く、具体化には相当時間がかかると思う。

二 原発の使用済み核燃料貯蔵施設について

問① 市長の考えは。

答 大変重要な問題である。施設をめぐる状況は変化しておらず、県の基本方針は変わっていない。私の立場はあくまでも白紙。

問② 施設を誘致しないと市の財政運営は成り立たないのか。

答 財政指標から見ても、財政運営は可能である。



井上 万治郎 議員

問① 公共下水道整備について。

答 整備計画区域のうち公共下水道は六三・六％、農業集落排水は七九・一％の普及率。公共下水道事業は平成二十二年で完成されるが、農業集落排水事業の未整備地区の奥田縄、新滝、須縄は地元要望で平成十八年の採択を目指す。処理場のあらごみの取り除き作業や維持管理の業者委託は今後運営協議会で検討する。

問② 構造改革特区申請について。

答 各部で可能性のある事業を模索、特に食のまちづくりに関し現在、検討・努力している。食文化館での商業利用に関する規制緩和やグリーンツーリズムで農家に泊まる際の手続き緩和などを検討中。三歳未満児の幼稚園入園の容認や幼保一元化の特区申請を要望。

問③ 農業構造改革について。

答 麦、大豆、特産作物の生産促進、認定農業者、集落農業の組織化、朝市グループ育成、地産地消を推進。



山崎 勝義 議員

交通網の整備とまちづくりについて

問① 国道一六二号の整備状況と今後の取り組みについて。

答 大手橋・西津橋の概略設計は今年度中に出来上がる。阿納尻、田鳥間の進捗率は六〇％である。

問② 小浜・上中縦貫道の整備状況と今後の取り組みについて。

答 住吉く酒井間は平成二十年度完成を目指し用地取得、物件移転を進めている。いづみ町についても、また遠敷までの沿道利用についても進めていく。

問③ 新線鉄道の取り組みと小浜線改善について。

答 直流化の開業に引き続くの具体化を目標にしている。両県による検討組織の設置等に取り組んでいる。小浜線の座席増設については平成十六年一月中旬に完了予定である。

問④ 食文化館を中心としたまちづくりについて。

答 レストランの建設と相まってここを情報発信拠点としていきたいと考えている。



三木 尚 議員

問① 行政サービスの向上を図るため市民、議員を加えた若手の職員を中心としたプロジェクトチームを作っているか。

答 検討する。

問② 景観条例を食のまちづくりに相応しいものにしては。

答 検討する。

問③ 当市の財政は本当に危機的な状態なのか。

答 昨年度の経常収支比率は八八・三％と高めたが平成九年の九五・一から徐々に改善してきており全国の平均的な位置にきた。三年連続の黒字で貯金も増やしており健全化に向かっている。



風呂 繁昭 議員

問④ 知事も電力会社の社長も福井県に作る気はないとい

っておりこの誘致話は市民を混乱させるだけだ。中間貯蔵施設について国や電力業者から正式な要請や打診があったのか。

答 一切ない。

問⑤ JR小浜線のダイヤ改正で大飯高浜方面が不便になった。本数を増やしせめて小浜止まりを敦賀までの直通にせよ。

答 要望を考慮し改善努力したい。

問① 若狭おばまのブランド農産物水田の高度利用、周年作大豆について。

答 新設米政策改革の中、水田農業ビジョンを計画、水田農業経営確立助成補助金も他地域と遜色がないよう検討する。

問② 雇用創出。

答 新規卒業内定率六七％の中、企業誘致と県立大学小浜キャンパスの学部化へ努める。中長期財政計画の財政指標の目標は現行制度継続のもとで経営収支比率八五％以下、公債費負担比率一五％以下、起債制限比率一〇％以下等で進める。

問③ 学校教育環境。

答 小浜小建設準備委員会より基本コンセプトとして教育委員会へ提出。校区外から近隣地区への転入は現行の校区で、やむを得ない事情の時は指定学校変更申請を。

問④ 小浜地区まちづくり。

答 中心市街地活性化推進ワーキング会議設置。来年専門部会立ち上げ、連携しTMOの必要性、景観形成地区の指定、電柱の地中化等を検討。

問⑤ 第七次海岸環境整備事業。

答 漁業関係者と協議等を行う。



宮崎 治宇蔵 議員

問① 二〇〇四年度当初予算の方針について、雇用・生活関連予算を重視すべきと考えるが。

答 食のまちづくり等のソフト事業に重点をおく。下水道・生活道路・学校の維持補修などに予算配分が必要。

問② 不況による影響から国民健康保険税の滞納が増加している。払いやすくするため現在四回の納期を八期から十二期に増やしてはどうか。

答 納税貯蓄組合などと協議し実施に向け検討したい。

問③ 「使用済み核燃料中間貯蔵施設」と食のまちづくりは両立しないと考えるが。

答 今は市民それぞれの立場の意見を謙虚に聞いている。

問④ 三〇人学級の実現について。

答 一人ひとりに目の行き届く教育を実現するためには、三〇人学級の実現は必要だと考えている。



池田 英之 議員

問① 上中町、三方町両町による合併合意を受けて、枠組み等も含めて市長の今後の取り組み方針は。

答 合併特例法期限内の合併を目指して、今後更に関係町村との協議を重ね、議会と御相談しながら、明年一月中にも結論を得たいと考えている。

問② 「若狭路博2003」を終えて、今後のまちづくりの方向性は。

答 観光交流人口の拡大を目的としたイベントの充実等ソフト事業を中心に展開していくことにより、食のまちづくりや観光、食品産業やそれを支える農林水産業の振興等、市の経済活性化、雇用の拡大へと繋がるものと考えている。

問③ 平成十六年度予算編成の基本方針は。

答 「若狭路博」での成果と経験を活かした施策を展開するためのソフト事業を重点とした編成を行うこととした。

ご意見・ご要望をお寄せください。

庁内LANの稼働により、皆様の市議会に対するご意見・ご質問・ご要望等を議事事務局宛でのメールでお受けすることができるようになりました。

メールアドレスは下記のとおりです。

gikai-jimu@ht.city.obama.fukui.jp



ホームページで
会議録を掲載

小浜市のホームページで、平成13年9月定例会からの会議録をご覧になれます。

URLは

<http://www.city.obama.fukui.jp>

メニューの **議会・会議録** ボタンから